



2008.6.25
第136号

発行
村会 町会 市会 県会 島教連
会 支会 支会 支会 支会
福島 北 津 津 津 津
教連 耶 麻 麻 麻 麻
連 南 沼 沼 沼 沼

編集
福島 県 教育 庁
会 津 教育 事務 所

編集協力
小・中学校 校長 会

「歩いてみませんか」



会津教育事務所
所長 福井 一明

週に一度、せめて月に一度は歩いてみませんか。

ガソリンも高いし、お腹周りの音を聞きながら、明け六つの鐘の音を聞きながら、一緒に歩いてくる人なつこい水鳥にあいさつしながら、さわやかな空気を胸一杯吸い込みながら歩くのは、とても気持ちがいいものです。

リヤカーで野菜を売り歩く元気なおばあちゃん達とも知り合いに、安くて新鮮な野菜を手に入れることもできますよ。

「車依存症」になっていませんか。転動を機に、車での通勤をやめた方がいます。Door To

Doorで自宅と職場の往復に終始していた時には気がつかなかった、街の息づかいのようなものを感じるようになったそうです。通勤途中で接する周囲の話から、自分の仕事や、どんな風に見られているかを肌で感じ、時には、実際とは異なる受け止め方をされているのに気付いたりもします。でも、そんな時その方は、こちらからどんな発信が必要なのかを考える際の重要なヒントを得た、と考えるのだそうです。

先日、近所の方と話す機会がありました。声かけ事業の新聞報道があり、とても心配して何ができることはないかとの相談も頂きました。すでに、ご退職された方でもありましたので、「もしできれば、朝夕、子ども達が登下校する時間帯に、このあたりを散歩してただけませんか。子どもたちの通学路や、学校の周辺を選んで散歩していただくだけで、それは立派な子どもを見守るボランティアですよ。」と申し上げました。その後、散歩をされるお姿をお見かけするようになりました。ありがたいことです。

汗の出にくい体になっていませんか。自分に挑戦する意味で、たまには、長い距離を歩いてみませんか。ただ歩くのが難しいのなら、「歩くイベント」に参加してみませんか。たくさんやっていますよ。自分の不摂生を後悔しながらも、ふるさとのよさを再発見できて、何とか完歩した時は、結構うれいもんですよ。

週に一度、せめて月に一度は歩いてみませんか。

平成二十年度管理課重点事項

一 学校組織の充実と活性化を図る人事管理

- 教師の使命感と倫理観の高揚
- 教職員目標管理制度の活用による実践意欲と資質能力の向上
- 人事事務、年間人事事務の適正化

二 教職員事故・学校事故防止

- 不祥事の絶無
- 勤務倫理委員会による教職員の「危機管理意識」の高揚と管理職の積極的な関わりによる「実効ある事故防止対策」の推進

- チェックシート等の活用による不祥事防止に対する当事者意識の高揚
- 速度超過・交通事故の防止
- 安全運転、ゆとりある運転への一層の心がけ

- 負傷事故の防止
- 学校火災・盗難事故の防止
- 学級・部活動・盗難事故の防止

- 計画的な防火診断による学校防火体制の強化と防火意識の高揚
- 防火設備等の操作方

- 法と係分担等の全教職員への周知
- 校舎内外の整理整頓、校舎周辺の可燃物の撤去
- 会計事務の適正な執行と不法侵入・盗難防止

三 連携を重視した業務の推進による学校教育の充実

- 施設設備の安全管理
- 日常の学校施設設備等の安全管理の徹底
- 学校プールの適切な管理運営と指導
- 個人情報等の適正管理
- 情報管理体制の共通理解による漏洩や流出防止

- 少人数教育推進事業「うつくしまっ子」みらいプランの推進
- 市町村教育委員会、各学校との連携を密にした時代に適合した人事管理
- 「指導と管理の一体化」による学校経営支援

- 教職員の事故防止については、今後も事故ゼロ（特無）を目指して、各校の実態に即した「実効ある取り組み」に努めていただきます。

平成20年度 家庭・地域の教育力向上を図る取組み

社会教育課

1. 「きめ細やかな家庭支援プロジェクト事業」

困難な状況の中で子育てをする親とその子どもを対象に、家庭教育支援者と連携し、個別に働きかけて子どもとの関わり等のスキルを学ぶ場の提供や個別の相談を実施する。

- 地域における調査・アプローチ
 - ・対象者等の把握と個別の働きかけ
- グループワーキング
 - ・「まなびタイム」の企画・運営検討
- 会津自然の家を会場に、「親」「親と子」「子ども同士」が学習する「まなびタイム」を9月から1月までに4回実施

2. 「10代の性のち生きいきプロジェクト事業」

福祉部局と緊密な連携を図り、性のちについて、子どもと向き合い関わっていくことの意識啓発を図り、思春期の子育てについて保護者を支援し、家庭教育の推進を図る。

- 親支援・性と生のワークショップ
 - ・6月22日(日)に、会津坂下町中央公民館・健康管理センターを会場として、講話、問題提起、ワークショップ(3分科会)、子育て相談等を実施

放課後子どもプラン推進事業の様子



3. 「地域における家庭教育支援基盤形成事業」

文科省委託事業として、小学校区において、家庭教育支援チームを創設し、家庭教育に関する学習機会の提供、相談体制の充実をはじめ、きめ細やかな家庭教育基盤の形成を促進する。

- 域内1地区で実施予定

4. 「放課後子どもプラン推進事業」

放課後等の子どもたちを地域住民の協力のもとで預かり、スポーツ・文化活動や交流活動を行う安全で健やかな居場所づくりを支援する。

- 域内9市町村において、総数25の教室で実施

5. 「体験活動・ボランティア推進センター事業」

学習支援・家庭教育支援ボランティア等の登録と活動のコーディネート、体験活動担当者への情報提供や相談活動を推進し、地域で教育を支えるしくみをつくる。

- 学習支援・家庭教育支援・病院訪問学習支援ボランティアの登録促進と活動のコーディネート
- 体験活動等担当者に対し、地域との連携事例や体験プログラム等の情報提供
- ボランティアプリセミナーの開催
 - ・6月29日(日)新鶴公民館を会場に、支援にあたる地域人材を対象とした研修会を実施
- 地域センターの運営
 - ・ボランティアや体験活動に関する相談、コーディネート

6. 「学びあい、支えあい地域活性化推進事業」

文科省委託事業として、地域住民が主体的に地域課題を解決する取組み等、地域のきずなづくりを促進する。

- 域内3地区(3団体)で実施予定
- 家族のきずなを深める体験活動、地域のきずなを深める活動を実施

7. 「学校支援地域本部事業」

文科省委託事業として、中学校区において、地域人材や団体等の参画を得て、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。

- 域内1地区で実施予定



『心地よい風が、 吹き始めているわよ！』

会津若松市教育委員会教育長 星 憲 隆

「市内の学校が変わってきたわよ。心地よい風が吹き始めているわよ！」これは、新緑まぶしい五月晴れのある日、いくつかの学校の保護者数人が、会合で私に語りかけた言葉である。

- ① 学校だより、学年だよりが新鮮になったわ。今までの「集金と行事予定」のお便りから、「心温まるエピソードや学校の様子が伝わる」お便りになったのよね。読み応えもあるのよ。
- ② PTA総会も変わったね。これからの学校を削り上げていこうという熱いメッセージが伝わる集会となって、ほとんどの会員が参加するようになったわ。
- ③ 授業参観や集会活動にもそれぞれのテーマや年間の「深化・進化」が明記され、子どもたちのシャッターチャンスがたくさん見えるように

なったんです。

- ④ 私たちの疑問や想いを丁寧に取り上げ、翌日から「スピーディに変わる学校の姿」が印象的。
- ⑤ 授業が魅力的。惹きつけられるような学習展開、子ども一人一人の個性を生かそうとしているのが分かるの。
- ⑥ スクールインフォメーション（学校情報誌）も、知りたい情報が満載で助かる。ホームページも日々更新され、安心だわ。
- ⑦ 何よりも、先生方が生き生きとして、自信を持って日々の教育活動に集中しているのよね。子どもたちも、学校が楽しいってスキップ踏んで登校しているわ。どの子も「とびっきりの笑顔と輝く目」が印象的だわ……。

その時、窓から心地よい微風が舞い込む。久々の休日のお昼時、その微風が私の浅い眠りを覚ましてしまった。会話はまだまだ続いていたのに！

エコ環境の推進と 戦国時代の歴史・文化の 掘り起こし

耶麻郡北塩原村教育委員会

昭和時代に8校あった学校が、昨年度北山小と大塩小が統合してさくら小学校が誕生し、2地区に小中1校ずつの4校に減ってしまった。

新設さくら小学校で日立つものは、ハイブリッド風力発電3基と18枚の太陽光発電パネルである。

地球規模で叫ばれている環境教育を推進するために設置した。子供たちは、3階のモニター「エコナビット」で発電と節電効果をチェックしながら学習している。子供たちが直接仕組みを「見て」電灯が灯る事を「感じて」自然エネルギーを利用することによって二酸化炭素の排出抑制が地球温暖化防止に役立つことを学習させたい。

戦国時代、我が村を通る旧会津・米沢街道沿いに綱取城・粕木城・桧原城・戸山城・岩山城と五つの山城が点在した。折しも来年の大河ドラマ「天地人」が始まることから5月18日に記念ウォークを実施した。県内外から1,600名ほどの参加申込みがあり、過疎地桧原を賑わした。当地区には

開闢以来の人々が訪れたとされている。このイベントは、埋もれた歴史資源の発掘を契機に裏磐梯観光のみならず「山城の北塩原」を全国に向けて発信するのがねらいであった。

「山城」の歴史は、時代をさかのぼること四百数十年前、伊達輝宗・政宗親子が桧原にある金と銀を手に入れたくて度々桧原に侵攻したことから始まる。伊達軍と会津を守る穴沢軍の戦から生まれた文化、主人公直江兼継等上杉一族が伝えた文化の大半は桧原湖底に眠っているとされている。山城の調査から四百年前の歴史・文化が見えてくることを期待している。又、東北最大級とも評されているこの山城群を国と県の文化財指定を受け、後世に残すべく取り組んでいきたい。



写真左上：風力発電3基 写真右上：太陽光発電パネル(校舎窓付近)

作品と指導

工作

『このあるやさしい
きょうりゅう』

西会津町立群岡小学校

4年 登島 裕貴



のこぎりを正しく安全に使って、角材を切ることができました。のこぎりをひく音が心地よかったようですね。その角材の形や組み合わせ方を工夫し、想像をふくらませながらつくることができました。動きがすばらしいです。

指導者 結城 克徳

習字

『林』

会津坂下町立若宮小学校

4年 小林 寛美

林

小林 寛美

習字の学習を始めて2年目になり、全体の構成を考えた練習をしてきました。また、漢字を分解することで、一つの文字の大きさやバランスを理解し、文字の組み立て方に注意して書くようになってきました。

指導者 遠藤 里志

絵

『子犬』



会津若松市立湊中学校

3年 鈴木 陽介

デッサンから子犬の愛らしい表情をよくとらえて描きました。毛の一本一本や影の部分にニードルで丁寧に彫り進め、ドライポイントの長所を生かすことができました。インクの拭き取りも上手にできたので、仕上がりに見事です。

指導者 小向 恵子

ともに歌う校歌



柳津町立
西山中学校
校長 佐藤 聡

山峡のいで湯のけむり

香う丘

建てる学び舎うるわしく
若き希望に燃ゆるもの

ここに集えり

週の初めに二十一人の生徒とともに歌います。少人数でも皆で励まし合い、様々な場面で学習に運動に精一杯取り組む生徒たちの姿が浮かんできます。歌い継がれてきた校歌に伝統の重みを感じながら、目標とする「ともに学び合う学校づくり」に思いを馳せまします。保護者や地域の方々との連携を深め、生徒も職員も互いにまだまだの自分を自覚しつつ、西山に集う仲間として互いに関わり合い学び合う情景が広がります。
「やがて西山栄ゆまで学び励まん」と結ぶ校歌。込められた思いを強く受け止め、無限の可能性を秘めた生徒とともに歩む覚悟を強くする瞬間です。

私の抱負

人々の温かさに触れて



猪苗代町立
長瀬小学校
教頭 草野和代

新任教頭として会津の地に赴任して二ヶ月。「教頭職には慣れましたか」とよく聞かれるが、今は「慣れた自分」を想像することすら難しい。これまでとは勝手が違う職務に右往左往し、目先の文書処理を辛うじてこなすのに精一杯。自分の不甲斐なさを感じる余裕さえなく過ぎていく毎日。
そんな中、私を支えているのは会津の人々の温かさだ。職場の先生方や地域の方々は無言、教育委員会や教育事務所、各小中学校の先生方から温かい言葉をいただく。純朴で素直な子どもたちに心が癒される。人は、人と人との関係の中で生かされ、育てられていることを痛感する。
私も人々を支える存在になりたい。白らの立場をしっかりと見据え、人々の和を大切にしながら、日々の教育活動に精一杯取り組んでいきたい。

新任教員として



喜多方市立
高郷中学校
教諭 多田慎之介

高郷中学校に赴任して二ヶ月が過ぎました。明るく元気で素直な生徒とともに過ごす学校生活では、教師としてのやりがいや、喜びを感じることもできるとも充実した日々を送らせていただいています。
学級担任として、部活動顧問として、体育主任として、教諭としての責任を感じながら一日一日を無我夢中で過ごしてきました。悩んだり、困ったときにも、励ましやアドバイスをしてくださる諸先輩方や、温かく見守ってくださる保護者や地域の方々など、多くの方に支えられながら過ごしてきました。
また、六月一日〜四日の「宿泊研修」では、ともに過ごした今年度新採用の九十二人の仲間の存在をとても心強く感じる事ができました。
これからも、支えていただいている皆様への感謝の気持ちを忘れずに、全力で教育活動に取り組んでまいります。